

(第1回) 契約変更の内容

契 約 変 更 年 月 日	令和 8 年 3 月 4 日		
契 約 業 者 名	ライト工業株式会社 関東防災統括支店		
契 約 業 者 の 住 所	東京都立川市曙町2-4-3		
工 事 の 名 称	R7国道17号高崎第二陸橋外橋梁・横断歩道橋補修工事		
工 事 場 所	自) 群馬県高崎市上並榎町 至) 群馬県前橋市元総社町1丁目		
工 事 種 別	橋梁補修工事		
工 事 概 要	本工事は、国道17号高崎第二陸橋外において、橋梁・横断歩道橋の補修工事を行うものである。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 高崎第二陸橋 支承補修工 水平力分担構造設置 30箇所 支承塗装塗替 38m² 断面修復工 0.45m² 仮設工 1式 </td><td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 元総社第二横断歩道橋 鋼桁補強・補修工 5箇所 表面被覆工 77枚 橋面舗装工 54m² 断面修復工 1.6m² 現場塗装工 29m² 仮設工 1式 </td></tr> </table>	高崎第二陸橋 支承補修工 水平力分担構造設置 30箇所 支承塗装塗替 38m² 断面修復工 0.45m² 仮設工 1式	元総社第二横断歩道橋 鋼桁補強・補修工 5箇所 表面被覆工 77枚 橋面舗装工 54m² 断面修復工 1.6m² 現場塗装工 29m² 仮設工 1式
高崎第二陸橋 支承補修工 水平力分担構造設置 30箇所 支承塗装塗替 38m² 断面修復工 0.45m² 仮設工 1式	元総社第二横断歩道橋 鋼桁補強・補修工 5箇所 表面被覆工 77枚 橋面舗装工 54m² 断面修復工 1.6m² 現場塗装工 29m² 仮設工 1式		
工 期 (自)	令和 7 年 6 月 10 日		
工 期 (至)	令和 8 年 6 月 30 日		
変 更 前 の 契 約 金 額	152,350,000円(税込み)		
変 更 金 額	+ 34,210,000円(税込み)		
変 更 後 の 契 約 金 額	186,560,000円(税込み)		
変 更 理 由	1. 高崎第二陸橋 1) 道路付属物撤去復旧工の追加 作業に伴い支障となった、落橋防止装置6基、鳥よけネット7個所の撤去再設置を追加した。 2) 汚泥の運搬処分の追加 橋台、橋脚上に堆積した鳥の糞等の洗い流し作業により発生した、汚泥の運搬・処分を追加した。 2. 元総社第二横断歩道橋 1) 現場塗装工 素地調整について、当初は2種及び3種ケレンを見込んでいたが、錆が想定よりひどく、鉛含有塗膜である下塗りの除去面積が大幅に増えたため、1種ケレン相当で塗膜かすの発生が少ない非接触塗膜除去工法へ変更した。併せて、塗装材料を塗布面の平坦性が劣った場所でも塗装の寿命を低下させにくい錆転換型防食塗装へ変更した。 2) 橋面防水工 ゴム系塗膜防水+シリコンシートによる表面被覆を見込んでいたが、作業期間の短縮のため、ポリウレタン樹脂系橋面舗装へ変更した。 3. 倉賀野歩道橋 階段の蹴上と踏板の結合部の破断により、昇降時に踏板がたわむ状態になってしまった本橋の緊急対策として、踏板の裏に支持材を取り付ける作業を追加する。 4. 工期 上記事由に伴い、工期を116日間延伸し、令和8年6月30日までとする。 5. 指定部分 元総社第二横断歩道橋の跨道部：舗装工、鋼桁工、現場塗装工		

(第2回) 契約変更の内容

契 約 変 更 年 月 日	令和 8 年 6 月 2 9 日
契 約 業 者 名	ライト工業株式会社 関東防災統括支店
契 約 業 者 の 住 所	東京都立川市曙町 2 - 4 - 3
工 事 の 名 称	R 7 国道 1 7 号高崎第二陸橋外橋梁・横断歩道橋補修工事
工 事 場 所	自) 群馬県高崎市上並榎町 至) 群馬県前橋市元総社町 1 丁目
工 事 種 別	橋梁補修工事
工 事 概 要	本工事は、国道 1 7 号高崎第二陸橋外において、橋梁・横断歩道橋の補修工事を行うものである。
工 期 (自)	令和 7 年 6 月 1 0 日
工 期 (至)	令和 8 年 9 月 3 0 日
変 更 前 の 契 約 金 額	1 8 6 , 5 6 0 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 金 額	± 0 円 (税込み)
変 更 後 の 契 約 金 額	1 8 6 , 5 6 0 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 理 由	1. 施工計画の見直し 第 1 回契約変更にて、補修工事を追加した倉賀野歩道橋の施工にあたり、地元との調整により、施工計画の見直しを行った。 2. 工期 上記事由に伴い、工期を 9 2 日間延伸し、令和 8 年 9 月 3 0 日までとする。

(第3回) 契約変更の内容

契 約 変 更 年 月 日	令和 8 年 9 月 2 9 日
契 約 業 者 名	ライト工業株式会社 関東防災統括支店
契 約 業 者 の 住 所	東京都立川市曙町 2 - 4 - 3 T I S ビル 8 F
工 事 の 名 称	R 7 国道 1 7 号高崎第二陸橋外橋梁・横断歩道橋補修工事
工 事 場 所	自) 群馬県高崎市上並榎町 至) 群馬県前橋市元総社町 1 丁目
工 事 種 別	橋梁補修工事
工 事 概 要	本工事は、国道 1 7 号高崎第二陸橋外において、橋梁・横断歩道橋の補修工事を行うものである。
工 期 (自)	令和 7 年 6 月 1 0 日
工 期 (至)	令和 8 年 9 月 3 0 日
変 更 前 の 契 約 金 額	1 8 6 , 5 6 0 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 金 額	+ 5 0 , 5 4 5 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 後 の 契 約 金 額	2 3 7 , 1 0 5 , 0 0 0 円 (税込み)

変更理由

<高崎第二陸橋>

1. 支承補修工

現地精査の結果、P5 橋脚（下りP6 側）の水平力分担構造を取り付ける下部工ブラケットの規格（寸法）を見直す必要が生じたことにより、鋼材の規格（寸法）を変更する。

また水平力分担構造の下部工ブラケット取付け部にグラウト材によるシール工を追加及び、水平力分担構造の上部工ブラケット取付け部の間詰材を無収縮モルタルからエポキシ樹脂モルタルに変更する。

2. 排水施設工

現地精査の結果、P1 橋脚（上りA1 側）及びP7 橋脚（上りP8 側）の水平力分担構造を取付ける下部工ブラケットが既設排水管に干渉するため、既設排水管の移設を追加する。

<元総社第二横断歩道橋>

3. 鋼桁補強工

現地精査の結果、デッキプレート補修に関わる舗装復旧をコンクリート打設から無収縮モルタルへ変更する。

4. 橋梁地覆補修工

現地精査の結果、地覆補修をコンクリート打設からポリマーセメントモルタルへ変更する。

5. 現場塗装工

現地精査の結果、素地調整に金属パテによる補修を追加増工する。

<倉賀野歩道橋>

6. 薄層カラー舗装工

現地精査の結果、歩道橋の橋面及び階段部の既設舗装打替えを追加する。また、階段部にFRP シートによる補強を追加する。

7. 踏板補修工

現地精査の結果、踏板のたわみ補修箇所を追加増工する。また、踏板支持材については工場加工及び溶融亜鉛メッキ処理の鋼材を使用することとし、材料を変更する。

階段最下段部は狭小で施工スペースが確保できないため、踏板支持材による補修から鉄筋コンクリート打設による補修へ変更する。

8. 橋梁塗装工

現地精査の結果、素地調整を非接触塗膜除去工法へ、塗装を錆転換型防食塗装へ変更する。

9. 仮設工

現地精査の結果、塗装足場撤去を追加する

10. 安全費

元総社第二横断歩道橋及び倉賀野歩道橋については、既設の塗装が鉛を含有する塗膜だったため、塗膜除去作業に伴う保護具類の追加及び、鉛含有塗膜の運搬処分を追加する。

11. 工期

工期の変更は行わない。